



東俣野

4月号

東俣野小学校 学校だより

平成28年4月5日

花咲く春 新年度を迎えて

校長 村田 幹男

色とりどりの花が咲きそろい、桜の花びらの舞う美しい季節、まさに春爛漫となりました。

本日、新1年生57名を迎え、379名の児童で東俣野小学校の平成28年度がスタートしました。

新1年生の保護者の皆様、お子様の小学校ご入学のお慶びを申し上げます。うれしさと同時に、不安もあることと思いますが、夢ふくらむ楽しい学校づくりをしていきたいと思っております。早く学校に慣れ、毎日の学校生活が喜びと楽しさにあふれたものであってほしいと願っております。

1学年ずつ進級したお子様の保護者の皆様、おめでとうございます。それぞれの子どもたちは、新しい学年、新しい友だちと楽しい学校生活を送ろうと、新学期を期待感と希望をもって迎えたことと思っております。

子ども一人ひとりには、かけがえのない存在です。多くの人とのかかわりを通して、自他共に認められる子どもを育てることが、これから多様に変化する社会に生きていく上で重要なことと思っております。私たち教職員一同、心を一つにして、子どもたちが毎日の学校生活を充実して過ごせるように、また、地域に愛され、信頼される学校づくりを進めていく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

そして、教育効果は、保護者の皆様や地域の皆様と信頼関係を築き、協力・連携することにより高められるものです。今後とも本校教育活動にご理解とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

横浜市立学校では、平成25年度より、各学校で3年間のスパンを見すえて「中期学校経営方針」を打ち立てています。今年度は新たな3年間の方針を立てる年度となっており、昨年度末、全職員で年間反省とともに目標等を決めました。具体的内容については後日お知らせいたしますが、目標の部分を下に紹介します。

東俣野小学校：学校経営中期目標

- 学習の楽しさ、分かりやすさを実感できる授業を行い、学習意欲と学力を高めるようにする。
- 一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく安心して学校生活を送れるようにする。
- 心と体の健康に関心をもち、望ましい生活習慣が身につくようにする。
- 家庭・地域の教育力を生かした活動を推進し、地域への愛着心を高めるようにする。
- 教職員が相互に啓発・連携しながら教育活動に取り組む中で、職員の資質を高めるようにする。